

那覇市にある子どもの居場所に関する最新情報をまとめた web アプリ

“icoi(いこい)”の一般公開

太田 絵莉香（工学部 エネルギー環境工学コース 4 年次）

葛西 美澄里（工学部 社会基盤デザインコース 4 年次）

仲間 航平（理工学研究科 博士前期課程 1 年次）、仲宗根 慎太（" 2 年次）

【概要】2021 年 1 月に公開した「[サポートまるわかり\(サポまる\)](#)」の続編として始まった子どもの居場所学生ボランティアセンター「令和 4 年度学生提案型企画」で、スマホを持つお子さんや親御さんを対象に①ユーザーの目的に合った子どもの居場所を近くて行きやすい順に紹介する機能と②各居場所で最近行われたイベントを写真付きで新しい順に紹介する機能を備えた web アプリを一般公開いたします。

子どもの居場所学生ボランティアセンター
令和4年度

『学生提案型企画』 プロジェクト募集！

学生提案型企画とは・・・？

サポートボランティア学生が自ら子どもの貧困問題の解決や啓発に、主体的に取り組むための公募型プロジェクトです。審査を経て採択されたチームは、コーディネーターのサポートのもとでプロジェクトを実行します。

『たくさんある子どもの居場所同士の交流の場を創りたい！』『遠隔地・離島で子どもたち向けのイベントを開催したい！』『子どもの貧困問題が生じる原因について調査・研究してみたい！』等、あなたの熱い思いを応援します。

採択は2チーム！

『自由提案型』
上限：10万円

応募資格

- ・学生サポートボランティアに登録ある学生1名以上を含み、3～5名で構成するチーム
- ・プロジェクトに責任をもち最後まで遂行できること
- ・センターからの連絡に対し速やかに対応できること

※詳細は募集要項参照

応募受付期間

7月12日(火)～
7月25日(月)

Step1

募集要項・提出書類などフォームから詳細確認し期限内に書類を提出！

Step2

採択されたらキックオフミーティング参加。プロジェクト遂行。(R5.1月までに終了)

Step3

R5.2～3月、成果報告会にて発表！

問い合わせ先 一般社団法人大学コンソーシアム沖縄子どもの居場所学生ボランティアセンター TEL：098-895-1939
コーディネーター：松村葉子・金城昌志・金城いさみ Email: kg-vc@consortium-okinawa.or.jp

図 1：太田さん達が応募した学生提案型企画プロジェクトの概要。

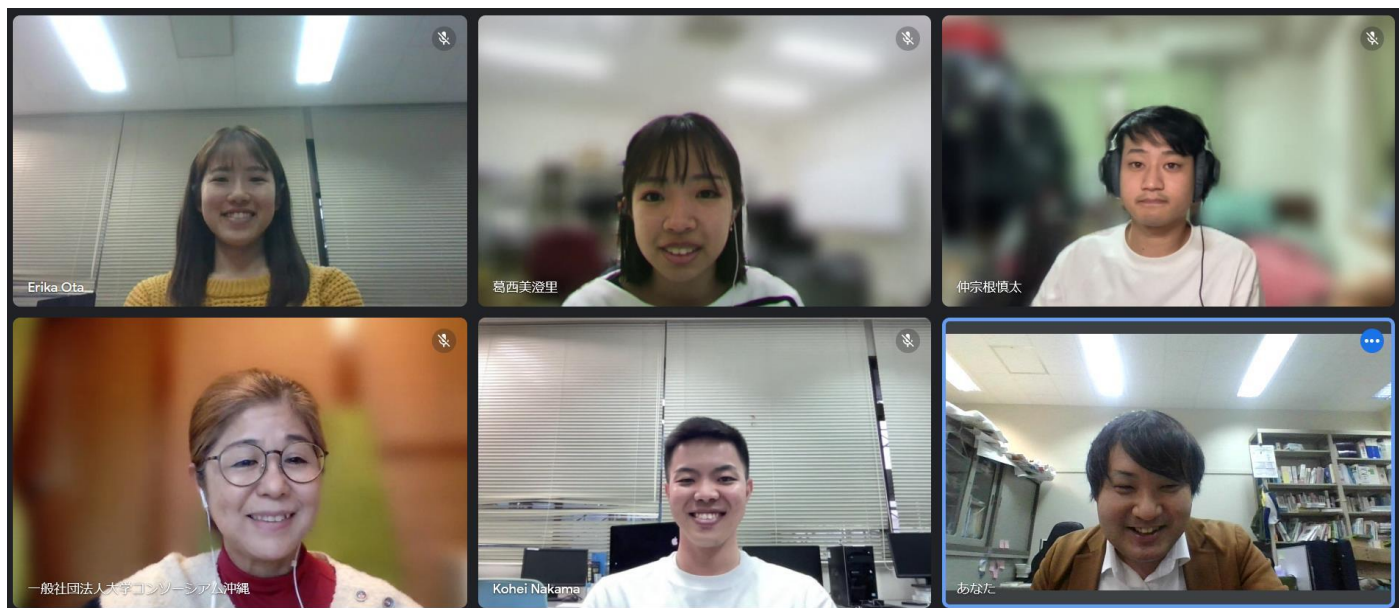


図 2 : icoi 開発メンバー（左上から時計回り順に）：太田絵莉香さん（学生代表）、葛西美澄里さん（デザイン担当）、仲宗根慎太くん（アプリ開発担当）、宮田龍太助教（太田さん/仲宗根くん/仲間くんの指導教員）、仲間航平くん（ネットワークインフラ整備担当）、金城いさみさん（子どもの居場所学生ボランティアセンターコーディネーター）。

表 1 : icoi 開発スケジュールと学生メンバーの各担当。

学生メンバー	8月	9月	10月					11月					12月				1月			
	25	7～28	5	12	19	26	27	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25
仲宗根 慎太	キックオフミーティング	構想設計	アプリ開発に向けた学習				保護管理課にヒアリング 那覇市役所福祉部	アプリの仕様決め		アプリ開発 (Django)				収集した情報の統合	試作版モニタリング	最終調整	一般公開			
仲間 航平			那覇市社会福祉協議会にヒアリング							ネットワークインフラ整備 (AmazonWebServices)										
太田 絵莉香			Google Forms 作成	那覇市にある子どもの居場所にヒアリング①		Google Forms 集計		那覇市にある子どもの居場所にヒアリング②		子どもの居場所によるSNSやHPの投稿をウェブスクレイピング										
葛西美澄里										ロゴ作成・アプリ背景のデザイン										



図 3. icoi の QR コード。 URL は <http://176.34.9.20/>

那覇市の子どもの居場所検索アプリ



一般公開のお知らせ

太田絵莉香・葛西美澄里（工学部）

仲宗根慎太・仲間航平（大学院理工学研究科）

金城いさみ（子どもの居場所学生ボランティアセンター）

宮田龍太（工学部）

1/12

目次

1. icoi (いこい) 制作の目的
2. icoi (いこい) の使い方
3. 学生開発メンバー紹介

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2/12

icoi (いこい) 制作の背景: サポまる (2021)

- 続けていくことが大事。単発で終わらせてはいけない

SDGs × 琉大生

文理を超えたボーダレスなプロジェクト
沖縄市の子育て支援アプリ「サポまる」の開発



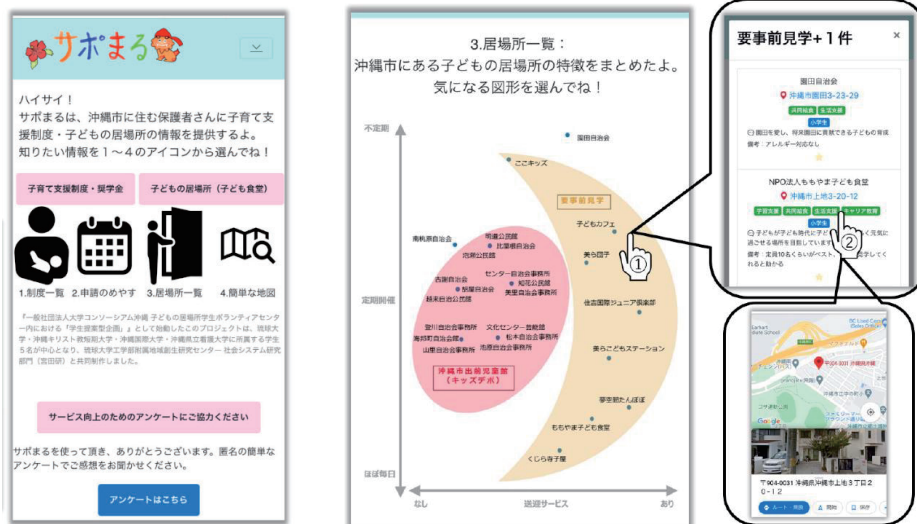
「サポまる」とは沖縄市の奨学金制度や子どもの居場所など、子育てに関する様々な支援制度をまとめたスマートフォンアプリ。これまで沖縄県では、市や町が独自に様々な子育て支援制度を設けてきたが、情報が点在しているため、助けを求めている人が必要な情報にたどり着けていないという状況にあった。そこに着目したのが人文社会学部1年の島袋鈴菜さん。

写真左から宮田龍太先生（工学部 助教）、杉浦さん、島袋さん、吉田さん、本村真先生（人文社会学部 教授）

3/12

サポまる (2021) の課題

- 情報の追加・更新を開発者以外が行うことは困難だった
- 継続的にアプリを運用することを見据えた設計・開発が必要



The image displays three screenshots of the 'Sapomaru' app. The first screenshot shows the main menu with icons for 'Childcare Support System', 'Childcare Locations', 'Simple Map', and 'FAQ'. The second screenshot shows a map of Okinawa City with various childcare locations marked. The third screenshot shows a detailed view of a specific childcare location, including its name, address, and contact information.

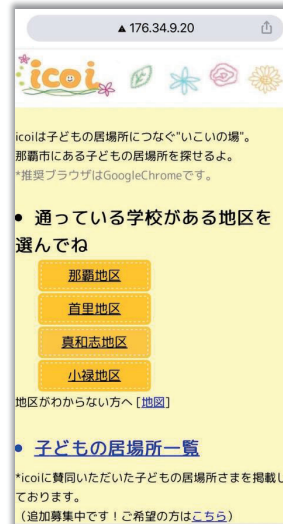
icoi (いこい) 制作の目的

- 子どもと子どもの居場所をつなぐ“憩いの場”をアプリでつくる
 - 継続的にアプリを運用することを見据えた設計・開発も実現



<http://176.34.9.20/>

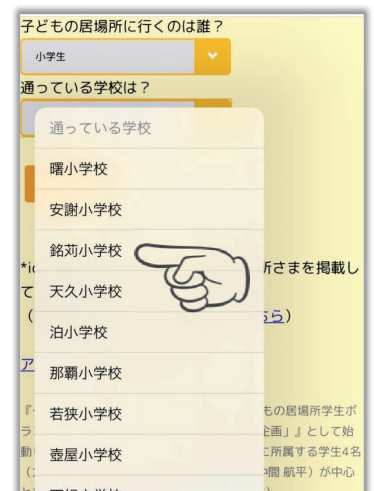
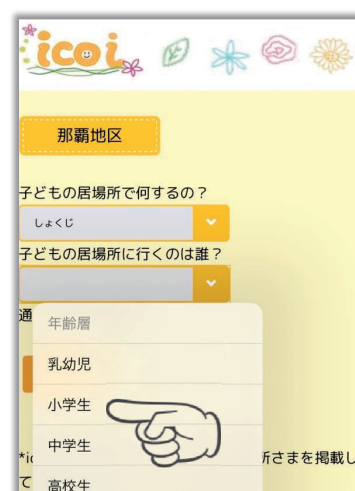
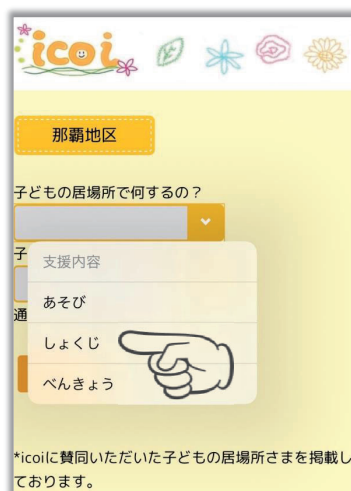
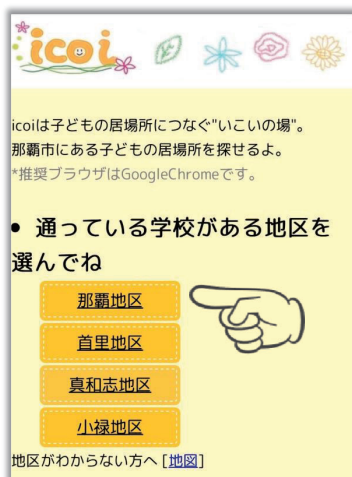
↑アプリのQRコードとURL



5/12

icoi (いこい) の使い方 (1/2)

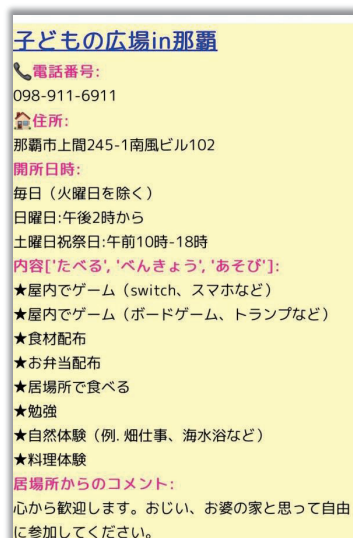
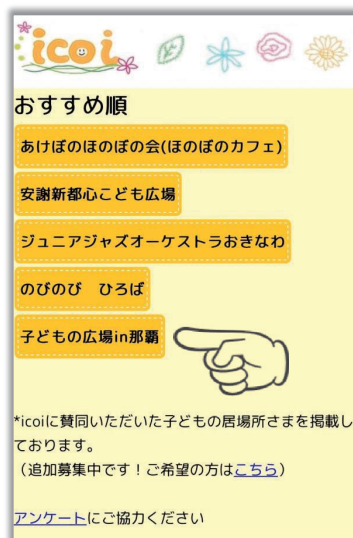
- はじめに、地区や目的など4つの質問に回答します



6/12

icoi (いこい) の使い方 (2/2)

- 回答に基づいて、おすすめの子どもの居場所が紹介されます



メンバー紹介: 葛西 美澄里 (デザイン担当)

- 「親しみやすさ・あたたかさ・笑顔・沖縄らしさ」をイメージ



写真: 葛西さん(中央)と太田さん(右)。二人は子どもの居場所学生ボランティアセンターの学生サポートボランティアでもある。

太田 絵莉香（学生代表・スクレイピング担当）

- SNSやブログから最近のイベント情報をプログラミングで抽出



9/12

仲宗根 慎太（アプリ開発担当）

- 情報の追加・更新を開発者以外でもできる管理サイトも構築
 - 継続的にアプリを運用することを見据えた設計・開発に貢献



10/12

仲間 航平（ネットワークインフラ担当）

- 那覇市社会福祉協議会 / 那覇市保護管理課 / 各子どもの居場所との橋渡し役も兼任



11/12

参加いただいた子どもの居場所さまからの声

- アプリ開発者がヒアリングからすべて携わったことも今回の特色

にじの森文庫 金城です。

このアプリが有効利用してもらえると嬉しいです！

ありがとうございます。

大田 様

アプリ確認しました。

沢山の方が利用してくれるといいですね

面白いです！子どもたちが気軽に居場所につながれば楽しいですね。良くて
できているな～と感心しました。
ありがとうございます



バッチリです。
ありがとうございます。

19:49



19:49

12/12